



■～男の子？女の子？～

妊婦さんの関心事の一つに、おなかの中の赤ちゃんの性別がどちらか？というのがあげられます。

「おなかを強く蹴っているから男の子かな？」とか、「お母さんのおなかの出具合から男の子かもしれない」とか、上の女の子が「お母さんのおなかの子は、女の子だよ」と言っているとか、上に男の子がいるから「今度は女の子に決まっている」という様に楽しい想像が尽きませんね。



当院では、超音波検査による性別の判定は22週以降に行うこととなっています。22週以前では、まだ胎児が小さくて、画像による判定が難しく、間違える場合が多いからです。当院に受診されている妊婦さんのほとんどが、検査による性別の判定を希望されています。希望されなかった妊婦さんの中にも、検査終了時に「ピンクの服ですか？ブルーの服ですか？」とか、「性別を書いた紙を折って、表から見えない様にしてください」とか、遠回しに聞いてこられます。妊婦さんがおなかの赤ちゃんの誕生を心待ちにしていることが伝わってくる、微笑ましい瞬間です。

担当:放射線科 荒木 栄